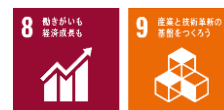


株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652**「京銀輝く未来応援ファンド」
既存投資先(「ものレボ株式会社」)への追加投資について**

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2019年2月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」は、「ものレボ株式会社」へ投資いたしました。同社は、「京銀未来ファンド1号」の投資先であり、今回は追加投資となります。

「ものレボ株式会社」は、独自の生産技術とITを活用し、製造現場の工程管理システムを開発・販売するベンチャー企業です。「京銀未来ファンド2号」では、今般、同社のより一層の成長を支援するため追加投資を行いました。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行うことで、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献できるよう取り組んでまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	ものレボ株式会社
代表者	代表取締役 細井 雄太
所在地	京都市中京区新町通三条上ル町頭町112 菊三ビル3F
設立	2015年9月1日
事業内容	工場の自動化・IT化による生産性向上を支援するサービスの開発・提供

2. 投資額

20,010,000円

※前回（2017年6月）の投資額は13,200,000円。

本件と合わせ、投資額は計33,210,000円となります。

3. 投資について

中小製造業の生産性向上を実現するため、製造現場に特化した工程管理ソフト「小ロットスケジューラ」などを開発・販売する「ものレボ株式会社」に、人材採用資金および製品開発資金として追加投資を行う。

4. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年(ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

